

“老朽原発うごかすな！大集会 in おおさか”に1300人参加！

6月6日 うつぼ公園にて 主催：老朽原発うごかすな実行委



中嶋哲演さんは主催者挨拶として、「福島原発事故記憶が風化しつつある一方で、関電の企業倫理を告発する運動、昨年の9・6大集会、小口顧客の関電離れなど動きも始まっている。この動きを原発ゼロ基本法案成立に結実させよう」と訴えた。引き続いて全国の諸団体から、関西各地の運動団体から、そして労働組合から多くの報告が行われた。

最後に「集会決議」が読み上げられ、全体の拍手で確認された。参加者数がコロナ禍の悪条件の中でも1300人を超えたことが報告された。引き続いて全体でシュプレヒコールを行い、炎天下のもと、ナンバまでの御堂筋デモを行った。この集会に連帯して、福井、仙台、高松、奈良、名古屋、山口などで連帯の行動が展開された。

美浜3号機の23日再稼働計画に反対する

集会の成功をもとにして、18日には関電本店緊急抗議集会が呼びかけられ、再稼働が予定されている23日には、美浜現地緊急全国集会が予定されている。当日の行動に向けて、再稼働の危険性を暴露するチラシが全戸に配布され、宣伝カーで抗議行動が呼びかけられる。



土地規制法案の強行成立に抗議！ 参考人の全員が法案の不備を指摘した

自衛隊基地や原発周辺、国境離島などの監視と規制を政府が勝手にできる「土地規制法案」。14日の参院内閣委員会での参考人質疑では3人の学者が口をそろえて「条文があいまいで、規制地域も内容も明確でない」との指摘を行った。しかし自民・公明は論議を打ち切り、野党の抗議に応えることなく、国会で強行可決した。

不当捜査されたチョウ類研究家の宮城さん 元気に反撃！

沖縄の研究家の宮城さんが、返還地に散在する米軍の不発弾や廃棄物を集めて「SOS」の文字を書いて「やんばるの生物の命が脅かされている」ことを告発。



やんばるの森の SOS

紹介 国民義勇戦闘隊と学徒隊 ￥1500

国民義勇戦闘隊の資料は、終戦後すぐに焼却命令が出され、組織的に隠蔽された。それに関する資料が最近、日本各地で発見された。国民義勇戦闘隊とは、女性や少年を含めた一般国民を戦闘員とする部隊。男性は15歳から60歳、女性は17歳から40歳までに兵役を課した。全国で一斉に準備が進められ、「国民皆兵」「一億総特攻」の戦闘計画が準備されていた。その全貌が軍の資料をもとに明らかにされる。



斉藤利彦<著> 朝日新聞出版

無責任で約束を守れない東電には原子力発電に関与する資格はない！

柏崎刈羽原発「安全工事完了」発表は嘘の報告

またまた東電の「嘘」が明らかとなった。東電は今年1月に「安全対策工事は完了した」と言っていたのに、実は70か所以上の防火工事が終わっていないと発表した。

柏崎では1月にテロ対策でのカード不正使用をきっかけに、空調設備、火災感知器工事などの不備が相次いで発覚して、規制委によって再稼働が白紙に戻されていた。

その後発覚した今回の76か所は、原子炉建屋等の火災発生時の延焼を防ぐために、壁や床の貫通部では配管に耐火材を巻き付けることになっているのにこれをしていなかった。76か所は判明分だけで、全てで8000か所あり、そのうち2700か所は目視できない場所にある。

こんな出鱈目な東電の工事は信用はできない。



柏崎刈羽7号機

汚染水海洋放出に地元首長は7割が否定的

東電と政府は2年後には汚染水を海洋投棄しようとしている。朝日新聞の県内59市町村の首長アンケートでは約7割が否定的姿勢を示している。「住民の理解が不十分」、「国や東電の対策が不十分」の判断だ。

政府と東電の方針は現地では全く受け入れられていない。海洋投棄は中止を！

「容認」の理由	
他に有効な手段がない	4人
廃炉促進に必要	4
立地町などが早期処分を求めている	3
その他	1
どちらかといえば容認	
5人	14
34	7
無回答	容認できる0
どちらかといえば容認できない	容認できない
「容認できない」の理由	
国内外の理解は不十分	32人
風評や賠償への国や東電の対策は不十分	29
多くの漁業者が反対している	25
国の方針決定過程が不透明	15
他の手段を検討するべきだ	8
安全性に問題	3
その他	4

沖縄で米軍ヘリ不時着/飛行中止要請を拒否 (朝日 6/3)

6月2日の夜中の11時に米軍の大型ヘリが沖縄本島中部の離島の民家から約120mの畑に不時着した。夜間の訓練は制限されている。沖縄県は米海兵隊に抗議し、訓練中止と同型機の飛行中止を要求した。しかし米側は謝罪するだけで飛行中止は拒否した。政府は「安全確保の徹底を求めていく」との抽象的発言を繰り返すだけである。

成長戦略から原発の「最大限活用」削除 (大阪日日 6/4)

今後の経済成長に向けた政府の成長戦略案から、「(原発を)引き続き最大限活用していく」との文言が削除されたことが判明した。経産省は原発の活用が必要との立場からこの表現を盛り込むように求めたが、再生エネを重視する小泉環境相と河野規制改革担当相が反対した。

最終的に「可能な限り依存度を低減しつつ、国内での着実な安全最優先の再稼働の進展」との表現となった。

大阪原発設置取消控訴審開始(高裁) (朝日 6/9)

昨年12月に大阪地裁の「大阪原発の設置許可の取り消しを国に命じた」判決の控訴審が8日に高裁で行われた。

住民側からは原告の石地さんが意見陳述を行った。国側は控訴理由書をもとに、「地震のゆれの大きさに『ばらつき』の上乗せ」を否定して一審判決の取り消しを求めた。

アルツハイマー薬 条件付き承認 (朝日 6/9)

6月9日に米食品医薬品局(FDA)は、日本のエーザイ等の開発したアルツハイマー病の治療薬を「効果などを調べる」という異例の条件付きで承認した。この承認にFDAの独立委の2人が「独立委はほぼ全員が反対であったのに承認した」ことに抗議して辞任した。不可思議な承認だ!

著名資産家 ほとんど納税せず (朝日 6/10)

米調査報道ニュース「プロパブリカ」が8日に米アマゾン創業者のジェフ・ベゾス氏ら、米国の著名な資産家が「ほとんど納税していない」と指摘した。米国の平均所帯は14%を連邦税として支払うが、資産額の上位25人は、資産増加の3・4%しか連邦所得税を支払っていない。

報告 6/5 2021年高校教科書採択全国集会 新教科「公共」「歴史総合」「地理総合」の教科書

「戦争教科書」はいらない!大阪連絡会の主催で、高校教科書採択に向けての全国集会が開かれた。今年も安倍「教育再生」に対応した教科書が登場するのでその内容の確認が行われた。全国各地から、高校における教科書選定に向けての闘いの報告が行われた。

報告 教育破壊を許すな 6/12集会

コロナ禍での会場の制約にもかかわらず、50人が会場を埋め、関西・全国からZOOMでの参加もあった。勇気ある久保校長の提言、大阪でのオンライン授業、学力テストとすくすくウオッチなど多くの課題について真剣な論議が行われた。



市民の健康を無視して進む東京五輪開催

スガ政権維持と、企業の金もうけのための五輪

菅政権は世論の「中止すべき」を無視し、科学者達の「中止意見」を無視し、五輪貴族と言われるIOCの開催方針に従って、盛大に開催しようとしている。緊急事態を解除して開会式と競技が始まれば、市民にコロナの蔓延が発生しても、五輪は続行との対応である。

市民が要求しても検査を拡大せずに蔓延を引き起こしてきたのに、五輪選手用には、短時間で検査できる移動自動車を開発したとの記事が「日経産業新聞」に掲載された。市民のためには努力も技術も出し渋り、五輪の金に目のくらんだ企業のおさましい姿である。



CD 〈Pete Seeger in Osaka 1967〉 (2枚組) 中山一郎 企画・構成・編集 / いよいよ6月末に発売



中山一郎さんがシーガーさんの著作権者のTinya Seegerさんの許可を得てCDの発刊を実現されました。大阪労音の許可を得て音源をコピーし、中山さんが企画・構成・編集した。

CDの巻頭言から

このCD〈Pete Seeger in Osaka 1967〉は、1967年10月11日に大阪フェスティバルホールで大阪労音によって主催された、アメリカのフォークソング界の雄、ピート・シーガーさん(Pete Seeger / 1919-2014)のコンサートの全容である。シーガーさんは、師と仰ぐウディ・ガスリーさんの社会的に恵まれない人々に常に寄り添ったフォークソングの精神を受け継いで歌って来られました。(中略)

このコンサートでの白眉は、何と言っても、ヴェトナム全土への北爆の最中にご自身が創られた『腰まで泥につかって』(中川五郎さん訳で『腰まで泥まみれ』)を初めて聴いたことです。温厚なシーガーさんが、顔を真っ赤に、ステージ床を踏み鳴らしながら、満身の怒りをもって歌われたその折の例えようもない衝撃は、今もって鮮やかに蘇ってきます。(中略)このCDが、我が国に於けるフォークソング界の“歴史の証人”として末永く後世に伝われば、望外の幸せです。(中山)

50年の夢を実現したまさに「歴史の証人」のCDである。

- ★CDNo1に「原爆を許すまじ」ほか12曲、
- ★CDNo2に「腰まで泥につかって」ほか10曲

価格:(2枚組で)税込みで2,750円です。

購入のお申し込み:中山一郎さんのメール・アドレス

nkym1@gold.ocn.ne.jp